



## 湘南学園80周年に向けて — 仲本学園長インタビュー —

聞き手：同窓会 渡邊和彦 会長

**渡邊**：来年80周年を迎えますがどんな思いをもっていらっしゃるのでしょうか？

**仲本**：過去を振り返りながら未来へつなぐ節目、新しい学園に飛躍するための大事なステップととらえています。また、これを機会に、湘南学園の持っている良さを様々な形で社会にも発信していきたいと考えています。



学園長 仲本正夫

**渡邊**：記念事業も計画されていますね。その一つ「80周年記念館」の建設にはどんな期待を込めておられますか？

**仲本**：非常に大きな期待をもっています。記念館には第一に、中高生の学校生活をぐんと豊かにしていくカフェテリアを作ることにしています。福島原発事故以降、とりわけ安心安全の食育の重要性を実感しておりますが、同時に、広々としたカフェテリアで、楽しいお昼の時間を実現し、あるいはいろいろのイベントや集会などにも活用できるようになるという点でも大きな意味をもっています。第二は、資料室や同窓会室を作りたいと考えております。これまでの学園の資料を展示するなどして、生徒たちが学園の歴史にふれ、先輩たちの活躍や足跡を知り、もっと先輩たちと交流できるようにしたいと思っております。

**渡邊**：また、教育振興基金を創設するということですが、その使い途はどんなものがありますでしょうか？

**仲本**：現在、様々な分野でもっとこうしたいという夢があります。例えば国際教育の分野では、夏休み等を利用した海外セミナーはイングランドや中国にも広げ、また、今年から、長期の海外留学制度もスタートしていますが、それに対してどのような支援をすればさらに進展がはかれるのか、また、カフェテリアを生かした食育のためにどのような支援をすれば社会的にも評価され注目されるものになるのか、さらに、中学の生徒募集上の問題、優秀な生徒が経済的に困難な場合は無償教育を行う公立中学に進学してしまうわけですが、最近では、それだけでなく公立高校も無償化され、また、公立中等学校が誕生するなど私学を取り巻く環境も激変しているのですが、私学の学費負担という大きな制約をどのようにして乗り越えていくことができるのか、従来では対応出来ない様々な教育課題を積極的に解決して行く方向で検討をすすめ、基金の準備状況にもよりますが、いくつか柱を決め、教育振興を図りたいと考えています。

**渡邊**：今年、高校卒業生の大学進学に関しては大変好調で、学力の向上が実感されますが、学力向上とともに、全ての生徒が質の高い楽しい学園生活を送るという事も大切ですね。

**仲本**：はい、その通りです。湘南学園の教育は、単純に進学だけに一面化したものではなく、生徒の人間の力を総合的に育てるものになっていると思います。教



同窓会会長 渡邊和彦

科の学習だけでなく体育祭、学園祭といった行事や、総合学習などの分野もあります。中学・高校では研修旅行には漁村や農村に泊まる民泊も取り入れています。生徒たちが自分たちの力で作りあげる体育祭や学園祭・合唱コンクールなども感動的なものです。

生徒たちは進路のこともありますが、このように勉強面だけではなく、人間にとって大切な様々な力を生き生きとした学生生活を送る中で培っています。

昨年8月には、幼稚園から高校までの全学の先生方が一堂に会して全学教研を開き、生徒の“学習意欲”をどうやって引き出すかというテーマで研修もすすめています。

**渡邊**：研究会を通じて、先生方も触発されているのでしょうか？

**仲本**：はい、研究会では、幼稚園にまだなじめない三歳児の保育、小学校の修学旅行で見た奈良の大仏の大きさを算数で計算する楽しい授業、高校3年の英作文の指導等が紹介されましたが、一人の子どもが湘南学園の教育の中で幼稚園から高校までどのように成長して行くのか、その陰で先生方がどんな努力をしているのかが見えるようになって、私自身、大変感銘を受けました。

**渡邊**：同窓会にはどんなことを期待されますか？

**仲本**：湘南学園にとって、同窓会の役割は非常に大きなものがあると思います。現在すすめている80周年記念事業も、同窓会の積極的な働きで、湘南学園、PTA、同窓会、後援会が“チーム湘南学園”として実行委員会をつくり、がっちりとスクラムを組んですすめているところに大きな特徴があります。そのきっかけが同窓会の「松ぼっくりフォーラム」でした。「80周年記念募金」にも、是非とも同窓会の皆様の熱いご協力をお願いしたいと

思います。

**渡邊**：そうですね、記念館には我々の長年の念願であった同窓会の拠点が置かれ、同窓会の今後の発展の礎となる訳ですから、積極的に応援したいと思います。

**仲本**：ありがとうございます。現在、記念館の構想検討に入りましたが、予算1億円という大前提がありますので、当初考えておりましたイメージに比べますと、全体の延床面積そのものも相当圧縮しなければならなくなりつつあります。今後、設計業者が決まり、基本設計の提案を受けて、改めて各団体からの要望をふまえた検討に入りますので、いい同窓会の拠点ができますように、ご要望も可能な限り反映するために努力いたします。

**渡邊**：我々もこうした取り組みを通じて同窓会の存在感を持つ事が出来ました。

**仲本**：来年には卒業生の皆様のホームカミングデイも実現したいと考えております。

**渡邊**：同窓会も前々からホームカミングをと思っていましたが、学園の方から80周年に卒業生を呼ぼうじゃないかと言っていたいただいてありがたいですね。懐かしい母校に集うイベントを是非協力して実現いたしましう。



## 湘南学園創立80周年記念募金（松ぼっくり募金） ご協力にたいする御礼とお願い

湘南学園では現在来年度の創立80周年記念事業にむけて、皆様に募金をお願いしております。同窓会もこれに賛同し支援をいたしております。すでに多くの方々からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

募金の期限は平成26年（2014年）3月までとなっております。まだ募金に応じていただけていない方々には、募金の趣旨にご賛同いただき是非ともご協力いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

また、来年11月の80周年には同窓生のホームカミングデイを計画しております。皆様、母校湘南学園でお目にかかるのを楽しみにしております。

SEASIDE Web リニューアル 湘南学園同窓会公式サイトで検索 <http://shogak-doso.org/>